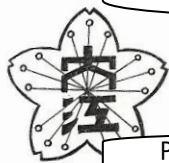


2020



【お礼】保護者の皆様、運動会参観ありがとうございました。特別観覧席の入れ替わりも自主的に
行っていたいただき、皆様のご協力のおかげで無事運動会を終えることができました。本当にありが
とございました。来年は制限をかけなくてよい運動会が開催できるといいなあと思っています。

大江の風

11月19日
No.125



PTA 役員の皆様、少数精鋭で全体のことを考え動いてくださって、本当にありがとうございました。

全員で盛り上がるって、やっぱりいいね♥

今日、どのクラスも気持ちを切り替えて落ち着いて学習していました。素晴らしい！さすが大江の子

令和2年度の運動会が、無事に開催できました。子どもたちと職員は、この本番の日を目指して、本当に、全集中で運動会の練習に取り組みました。結果、コロナ禍といういつもと違った状況でも、「何ができるか」「どうしたら笑顔で楽しい運動会になるのか」を6年生を中心にしっかり考え、工夫して実行できたことで特別感が増し、いつも以上に気持ちの入った、素晴らしい運動会になったのではないかと思います。



1年生の徒走後です。あまりにもピシヤリ並んでいるので思わず撮りました。すばらしい！！とても成長しましたね。

今年は運動会ではなく、スポーツフェスティバルの学校も多かったようです。特に大江のような大規模校は、低中高と分かれて実施の形をとるところが多かったです。でも私は「学校行事」としての運動会の目的は、「6年生が中心になって学校を一つにまとめ、学校文化を創っていくこと」だと思っています。だからこそ、この状況下でも、「どうにかする力」を子どもも職員も発揮して、創意工夫して全校児童で盛り上がる運動会をやると、心に決めていました。いつもよりうんと短い、3時間で終わった運動会でしたが、どの子も全力で取り組み、とてもよい顔をしていました。徒走も団体競技も表現も、これまで練習してきた成果が、しっかり表れていました。また赤団、白団とも、団長を中心に心一つにして応援し、団結することのすばらしさを体感できたと思います。得点の中間発表で、1回目は2点差で赤団優勢、2回目の発表では2点差で白団優勢という、点差が拮抗していたので、とても盛り上がりましたね。

また、児童会主催の「ホホホダンスと大江じゃんけん」は、極力密にならず、児童会テーマである「アンパンマンの心で団結し、笑顔で楽しむ大江っ子」を実現する種目として、子どもたちが考え出したものです。進行も上手で、とても楽しく、みんなが笑顔になりました。ここが「大江小のよさ」です。こんな大きな学校でも、人数が多くても、みんなが1つになれるって、本当に素晴らしいです。運動会を通して、活気あふれる学校になったのも、自分の役割をしっかり果たしてくれた6年生とその後を引きつづ5年生のおかげです。ありがとう。



いつもは全員で解団式をします。今回は運動会終了直後にビデオに撮って、各クラスで応援団の人たちの言葉を聞きました。このリーダーたちの想いを聴くことが、また新しいリーダーを生むのです。きっと、私が最上級生になったら・・・と近い将来の姿を思い描いた子どももいたと思います。

5時間目に全クラスで「運動会の振り返り」をしました。多くの子どもたちが自分の事以外に「6年生がかっこよかったです。」「あんな6年生になりたいです。」と書いていたそうです。嬉しいですね。この大江のよさ、学校文化は、きっと来年も再来年も受け継がれていくことでしょう。

大江小の中心から叫びたい！子どもたち、先生方、みんな～～、感動をありがとう！



紅白リレー。6年生が1年生に優しくアドバイス。また緊張をほぐしてくれました。ありがとう。さすがリーダーだ。



5年生は団体競技の前に、各チーム気合入れをしていました。運動会でどの学年やクラスも、団結力が増しました。これからが楽しみです。



今年初お目見え「Zoom係」です。体育館で休憩されている方に外の様子を伝えました。臨場感あふれ、とてもよかったです。

